

「女子ソフトテニス部活動 穴吹中モデル'24」チャレンジの道すじ

～ 明日ももっとやってみたいことがある部活動・考える部活動 ～

1年 5人 2年 6人 3年 7人

平日 放課後～18:00
休日 8:00～11:00

場所 スポーツ広場
清月屋敷

指導者 武田 大太郎
横田 晋也

単独 合同 輸送()

枠組み1

- 1 時間を守る、休日を守る
- 2 熱中症・けが等には全員で注意する

枠組み2

【部活動指導員との関係】
技術指導 両面から
生徒指導 バックアップ

- 1 指導員がおいでたら、基本、担当教員は帰校する（下校指導もお願いする）
- 2 連絡を密にとり空白の時間を作らない
- 3 生徒と連絡を取るときは、基本担当教員を通じて保護者に連絡（さくらメールで）

生徒の姿勢

2つの目標(大きな目標・小さな目標)

- 1 四国総体出場
- 2 行動を早くする

1 誰に対してもあいさつができる

2 2つの目標を意識した練習

3 コーチの指導を実践

4 日頃から練習に集中

5 練習終了後にふり返り

教職員の姿勢

- 1 練習時間は必ず守る
- 2 できたことは必ず褒める（ボイスシャワー）
- 3 できないことはできるようになるための方法を教える
→できないことを理由に叱らない
- 4 チームにする・全員を育てる、もうひとつの自分の学級と意識する
- 5 欠席したとき元気がない時のフォロー
- 6 保護者・指導員との連携密
- 7 練習場所の安全面・清潔さ等の環境保持
- 8 メリハリのある練習になるよう、タイムマネジメントを意識させる
- 9 保護者、部活動指導員、地域の方等へ感謝の気持ちを持つ
- 10 ミーティング等で部員の心身の状態を把握し、的確な目標を持って練習させる
→モチベーションを保つための助けとなる